

公表：2022年3月30日

事業所名：プティ倶楽部大宮

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			一人あたり4㎡以上のスペースは確保出来ています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童2人に対し1人の職員を配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関や室内にも大きな段差がありますが、留意し対応しています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		毎日の朝礼、毎月の会議で振り返りを行っています。朝礼に参加できないパートさんには、ノートに記載し共有できるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からの評価表を会議等の場で共有、意見を出しあい、業務改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			会社のホームページに公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現状は第三者による外部評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月次会議では法定研修を行い、外部のオンライン研修や動画での講習も受講しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様と面談を行った内容を会議などで職員に共有し、意見を出し合い計画に反映させています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用児童全員に、同一のアセスメントシートの記入をして頂いています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラムを決める会議を毎月設け、全スタッフの意見を出し合って決めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事を盛り込み、長期休みには様々な体験を積めるよう工夫しています。活動内容は履歴として残し、振り返りできるよう努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇等、支援の時間に合わせてスケジュールを組んでいます。それぞれのプログラムに対し活動のねらいを持ち取り組んでいます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの特性や達成可能な項目を考え、計画には個別での活動や集団活動組等を盛りこんでいます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝のミーティングで支援内容、目的、1日の流れ、担当を決め役割分担を決めています。内容をノートに記入し、全職員に共有できるようにしています。午後から来るパート職員に行き渡っていない事も見られる為、ノートの確認のほか、口頭でも伝えていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			気づきや問題点等はその日のうちに話し合いをし、翌朝ミーティングでも振り返りをおこなっています。細かな支援の振り返り内容等は翌日に行う事が多いです。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動内容、支援については、毎日記録をとり次の支援や計画に反映させています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援計画の更新時にはモニタリングを行い、計画の見直しについて職員間で話し合いをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインの内容を組み合わせさせて様々な活動内容を盛り込んでいます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			現状、コロナの影響もあり参加の機会が少ないですが、必要に応じて児童発達支援管理責任や管理者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			年度の初めは学校に改めて挨拶をしたり、必要に応じて学校との連携も行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現状、対象となる児童がいない為連絡体制は整えておりませんが、必要に応じて整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		現状、すべての児童に対応出来ていない為、保護者様と連携し情報共有を進めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象となる児童がいない為、今後保護者様の意見も聞き、必要に応じて対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	実施出来ていない為、コロナの状況を見ながら対応していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	積極的な関わりは持っていませんが、公園や公共の場などで接する事はあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	現状は、実施がなく参加していません。案内の行き違いがある可能性もある為、問い合わせします。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に日々の様子をお伝えしています。気になる行動があった際には都度保護者様にお電話し報告・相談をするよう心がけ、共通理解に努めています。 ご意見として、職員により様子が聞けない時があるというお声を頂いている為、改善致します。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			日々の申し送りや面談のなかで相談、助言等を行っていきけるようにしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際に保護者様に対して支援の内容や負担等について、丁寧に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			個別の面談や、保護者様よりご相談があった際等は、悩みに寄り添いながら対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	2か月に1度、開催予定でしたがコロナの影響を考慮し中止しています。今後はコロナの状況を見ながら開催を計画します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情の担当窓口などを決め体制を整えています。また、苦情があった際には都度、迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月お便りを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しています。またSNS等を活用し、スマートフォンからも見られるように活動内容を掲載しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の研修を行い、定期的に振り返りをするように心がけています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要時には都度連絡を取り合い、ご利用時には毎回システムの連絡帳で意思の疎通を取るよう心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		10月に地域の方、子供たちとの交流を図りました。今後も計画して行っていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所では各種マニュアルを閲覧できる様にしています。 保護者様へは、ブログ機能を使用し、研修で使用したマニュアルを周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			公共の防災センターに行ったり、実際の避難場所に行くなどして年2回、子供達と避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待の研修は年2回行っています。また、ミーティングで支援の振り返りが適切であったか振り返りを小まめに行っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		法人として身体拘束を行う事は想定していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時に保護者様よりアレルギーの有無を確認しています。現在、医師の指示書が必要であるお子様はおりません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月の会議や朝夕のミーティングでヒヤリハットの振り返りをしています。事故に繋がらないよう共有し改善策までしっかり立てていきます。